

文字を点字に！視覚障がい者に情報を！！

功労者

■ 団体名・氏名

点字グループ「あけぼの」

■ 基本データ

継続年数	46 年間
主な連携先	社会福祉協議会、小学校、中学校、高等学校等
団体の規模等	12 名

対象

視覚障害

活動分野

学習

文化芸術 スポーツ

情報保障

普及啓発

その他

活動の概要

視覚障がい者の点訳ボランティアとして、市広報、市議会だより、市社会福祉協議会だよりなどを点訳しています。また、小学校・中学校・高等学校における点訳指導や、点訳奉仕員養成講座を実施しており、視覚障がい者の情報保障、担い手育成、普及啓発活動に積極的に取り組んでいます。

■ 活動内容

点字グループ「あけぼの」は、広島県大竹市において、地域で唯一の点訳ボランティア団体として活動しており、現在、市広報（毎月発行）・市議会だより（年4回発行）・市社会福祉協議会だより（隔月発行）等を点訳し製本して、市内の利用者に届けています。また、市内の小学校・中学校・高等学校での点訳指導の実施、市の障害者社会参加促進事業に協力して点訳奉仕員養成講座の実施などの活動を行っています。

視覚障がい者にとって、市の制度や行事の情報を知ることができるかけがえのないものであり、点訳ボランティアも、必要としている人が一人でもいればやらないといけないという使命感を持って活動を継続しています。活動は40年を超え、点訳実績は45万ページを超えています。

今後も、学校での点訳指導や点訳奉仕員養成講座の実施を通じて、若年層の新たな会員の参加による持続的な活動を目指して、引き続き次代の担い手育成に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



写真1 点字グループ「あけぼの」のみなさん

■ 活動の経緯・体制

昭和54年に、点訳の養成講座の受講者が集って結成し、視覚障がい者の依頼により、料理のレシピ・JR時刻表・ゴミカレンダー・小説・電化製品説明書などの点訳活動を開始しました。その後、平成6年から市内の学校での点訳指導を開始し、平成12年から市広報等の点訳と点訳奉仕員養成講座を実施しています。

現在、大竹市民を中心に会員12名でこれらの活動に取り組んでいます。

■ 活動の工夫・成果

結成当初は、点字盤を使用して全て手作業で点訳しており、一つ一つ穴に凹凸を付ける大変な作業でした。現在はPCで点訳しており、各会員で点訳したものを持ち寄り製本しています。例えば市広報の場合30ページ程度であったものが何十倍の厚みで製本され毎月利用者に届けています。また、学校で点訳指導を実施する際は、名刺やはがきを作成するなど児童生徒が楽しく親しみながら学べる工夫を凝らして実施しています。

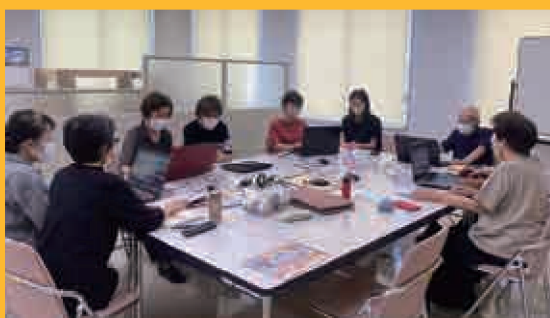


写真2

活動風景